

フードディフェンス 世界規準の安全・安心

大潟村あきたこまち生産者協会
涌井 徹社長

奈良県立医科大学
今村 知明教授

セキュリティ対策武器に市場開拓



世界初のフードディフェンス国際認証を取得した大潟村あきたこまち生産者協会。涌井徹社長は、取得の背景や経緯とともに、今後の取り組みを聞いた。

認証取得の動機は、さらに人材のグローバル化も進み、考え方や文化の異なる海外人材に頼る昨今にあります。新たな安全・安心混入する性質に基づくシステム構築の必要性が求められ、セコムに相談し、セコムに相談しました。そこで、世界で通用するフードディフェンスが、効率的かつより安全性確保に注力してきました。しかし、コントラクトが致命傷となる、ケルミスが付きもので、限界があると考え始めました。そこで、警備最大手のセコムは、悪意に基づく誤認などはどう違うんで

証は、意図的な混入を防止する、いわば性悪説に基づいています。

涌井 従来のシステムは、偶発的に異物が混入する性質に基づくものですが、この認

証は、意図的な混入を

防止する、いわば性悪説に基

て、必要不可欠な工場から取り組んだの

で、信頼できる国際機関が安全性を証明して

くれる。これは大きな

違いです。今回の認証取得が、国内外の認証取得が、国内外の

認証取得が、国内外の

認証取得が、国内外の